

飯伊 産業経済動向

No.469 2018/4
(30. 5. 25 発行)



http:// www. iidashinkin. co. jp
〒395-0044 飯田市本町1-2
TEL 0265-53-5811 FAX 0265-53-1132

飯伊地区主要経済指標

主要指標		実数		前月比		前年同月比	
手形交換高 (飯田手形交換所扱)	枚数	3,338	枚	4.8	%	4.7	%
	金額	4,505,883	千円	△	0.2	28.7	%
うち不渡発生状況	枚数	9	枚	(前月 1 枚)		(前年同月 0 枚)	
	金額	10,991	千円	(前月 405 千円)		(前年同月 0 千円)	
倒産件数 (負債額1千万円以上)	県内	5	件	(前月 11 件)		(前年同月 10 件)	
	飯伊	1	件	(前月 3 件)		(前年同月 3 件)	
住宅着工戸数 (飯田市、下伊那郡 総数)(3月)		54	戸	0.0	%	△	21.7
有効求人倍率(パートを含む実数) (ハローワーク飯田管内)(3月)		1.60	倍	(前月 1.65 倍)		(前年同月 1.47 倍)	
自動車新規登録台数 (松本事務所管内)	新車	1,898	台	△	50.8	1.1	%
	中古車	628	台	△	22.6	△	12.4
軽自動車新規登録台数 (軽自動車協会連合会長野事務所) (3月)	新車	6,532	台	42.2	%	△	1.6
	中古車	1,088	台	41.9	%	△	2.7
中央道利用台数 (飯田インター分)	入	111,965	台	△	4.1	0.8	%
	出	113,105	台	△	4.3	1.4	%
中央道利用台数 (松川インター分)	入	74,455	台	△	4.0	1.3	%
	出	71,291	台	△	4.0	△	0.4
中央道利用台数 (園原インター分)	入	26,286	台	88.5	%	58.8	%
	出	31,243	台	115.5	%	63.8	%
中央道利用台数 (飯田山本インター分)	入	44,870	台	12.4	%	10.3	%
	出	46,977	台	19.0	%	10.5	%
信用保証協会 新規保証件数 (飯田支店管内)		121	件	△	41.5	△	4.7
信用保証協会 代位弁済件数 (飯田支店管内)		0	件	(前月 5 件)		(前年同月 7 件)	
高速バス乗車人数	飯田～新宿	25,759	人	△	12.4	4.2	%
	飯田～名古屋	17,961	人	△	12.1	3.8	%
	飯田～長野	9,472	人	△	5.7	△	4.0
市内循環バス乗車人数	左回り	3,294	人	△	14.3	△	3.4
	右回り	3,405	人	△	5.3	2.1	%

◆ 本誌内容は飯田信用金庫ホームページ (http://www. iidashinkin. co. jp) に全文掲載しています ◆

本誌は、当金庫が信頼できると考えるデータに基づき作成されておりますが、データ、記述の正確性、完全性を保証するものではありません。御利用に当たってはご自身の判断によってください。

しんきんは環境にやさしい取り組みを地元のみなさまとともにしています。



再生紙を
使用しています

概況

製造業

4月の製造業の業況判断指数(DI)は、プラス3.8で、前月から27.2ポイント下降。翌月予測もマイナス7.4で、前月から34.1ポイント下降している。

電気、精密機械器具の売上は、前月比横ばい、景況感にも変化はないとの声が寄せられた。半導体、液晶製造装置向け部品の受注残高は、前月比減少～横ばい。減少したとする業者にあっても前年比が大きく増加していることもあって、景況感の悪化には至っていない。産業機器や医療機器向け部品の受注、販売の前月比は、横ばいとの声が多数を占めるが、そうした中において、増加した業者、減少した業者ともに複数見られる。建築用金属製品の売上は、前月比概ね横ばい、前年比やや増加。景況感の悪化には至っていないとの声が寄せられた。自動車向け部品の販売は、前月比、前年比とも減少、景況感も悪化との声。小型電磁機器の販売の前月比は、減少～横ばい。一部に前年比もやや減少との声も聞かれたが、こうした業者でも、先行きの受注の増加を見込んでいることもあって、景況感の悪化には至っていない。FA関連モーターの販売は、前月比概ね横ばい、前年比は増加しており、景況感も良好との声が寄せられた。光学機器の受注は、前月比、前年比ともやや増加、景況感も良好との声。電気、電子製品の受注は、前月比やや減少も、景況感良好との声が寄せられた。

地場産業

半生菓子、菓子原料等の売上は、前月比やや減少との声も聞かれるが、横ばい～やや増加との声が多い。水引製品の販売は、前月比やや減少～横ばい。「例年5～8月は閑散期」ということもあり、「新年度を迎えたが、特にめばしい引き合いもなく静かな状況」という。漬物の販売は、前月比増加、前年比やや減少、「野菜相場も落ち着き、売れ行きも落ち着いてきた」との声が聞かれた。

建設業

4月の建設業の景況DIは、マイナス7.1で、前月から17.9ポイント上昇。翌月予測DIも、マイナス28.6で、前月から21.4ポイント上昇した。

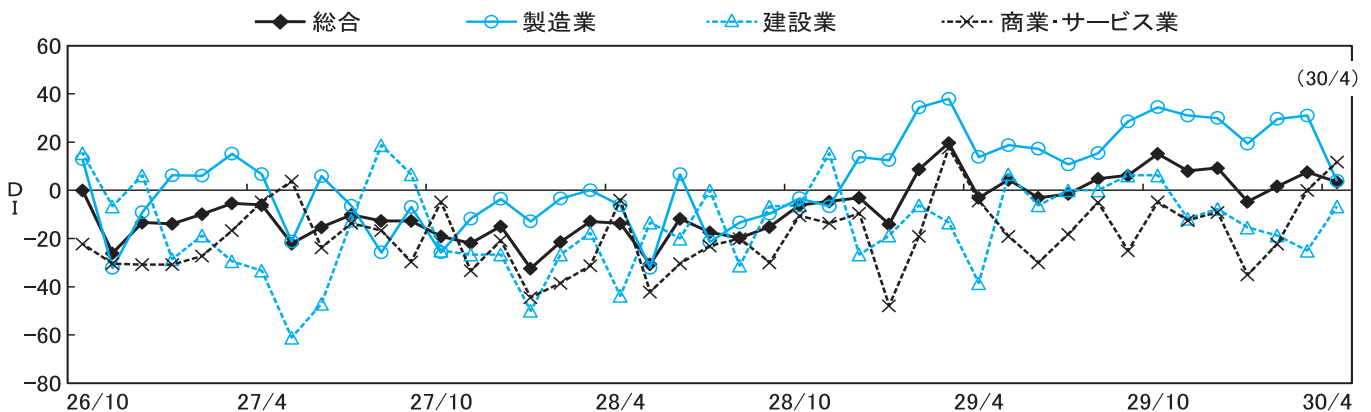
当地区における、当月の県、市町村発注工事の入札額合計は、約7.3億円で、前月比は40%減少も、前年比は120%増加している(5月15日調査時点)。当月の調査先企業の受注残高の前月比は、業者により増減分かれる。「年度末に入札が多かったため、元受、下請共に仕事を確保することができた」などの声や、「前年並みの受注」「予算通過で徐々に発注になってきているが、いまだ工事が少なく、競争は厳しい」などの声が聞かれ、景況感も、好転した業者は見られない一方で、悪化した業者も多くはない。

当地区の3月の住宅着工戸数は54戸。前月比横ばい、前年比は22%減少している。当月の調査先企業の受注残高の前月比は、業者により増減分かれる。住宅建築では、「まずまず」などの声が聞かれた一方、住宅以外の建築に関しては、「一般工事は少なくなっていると思う。下請けさんからも『仕事がないか』という問い合わせが来るようになってきた」などの声が聞かれた。

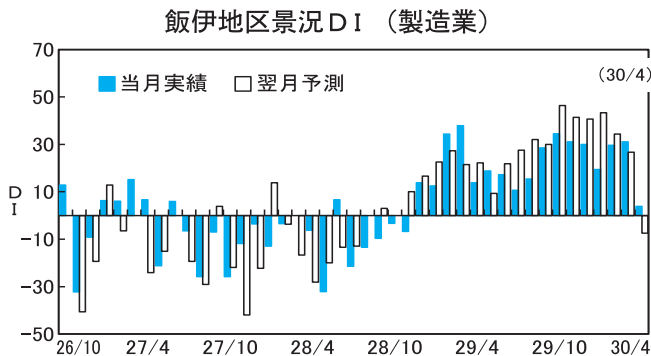
商業・サービス業

4月の商業・サービス業の景況DIは、プラス11.8と、前月より11.8ポイント上昇。翌月予測DIは、0.0で、前月より9.1ポイント上昇している。食料品の売上の前月比は、やや増加との声が多い。前年比はやや減少との声も。製菓、製菓用品卸の売上は、前月比やや減少も、景況感の悪化には至らないという。家事用品卸の売上は前月比、前年比共にやや増加との声。電化製品の売上は、前月比、前年比共にやや減少も、「前年は特需があり、前々年と比べれば例年通り」という。娯楽用品の売上は、「前月比、前年比共にダウン」との声。衣料品の売上は、前月比、前年比やや増加という。土産物関連の売上は、前月比やや増加～増加、一部に前年比もやや増加との声。松本自動車検査登録事務所管内の自動車新規登録台数は、新車は前月比51%減少も、前年比は1%増加。3月の県全体の軽自動車新規登録台数は、新車は、前月比42%増加も、前年比は2%減少。自動車販売、整備の売上は、「例年この時期一服感が出る」など、前月比やや減少、前年比やや増加との声。市内料理店の売上は、前月比やや増加、前年比もやや増加している。「先月以来の好調さを保つことができた。ただ、予約状況からすると決して景気が良いようには感じない。今後の見通しも何とも言えない」などの声。昼神温泉の売上は、前年比やや減少との声。「ゴールデンウィークに集中して予約がありいつも同じ状況。しかし花の開花が早く、すべての花が一斉に咲いた感じで、お客様もタイミングを取るのに迷われ、結局出足が悪かった感。ゴールデンウィーク前半はともかく、後半に客足が途絶えてしまった」などの声が聞かれた。タクシーの売上は、前月比やや増加という。

飯伊地区景況DI (本誌調査)



地区内製造業の景況判断指数



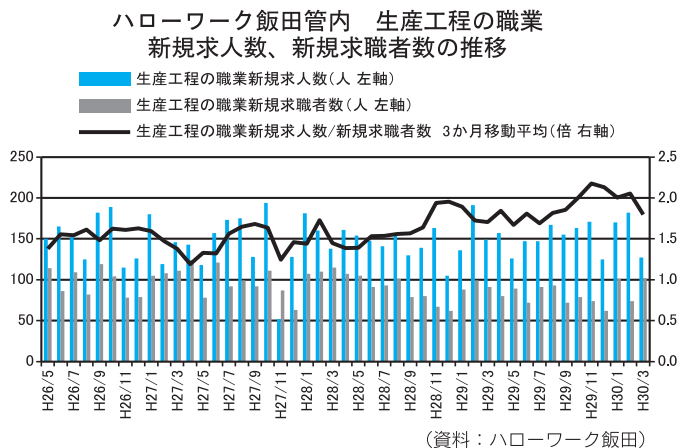
当月実績DI	3.8	(前月 31.0)
翌月予測DI	-7.4	(前月 26.7)

当月の製造業の業況判断指数(DI)は、プラス3.8で、前月から27.2ポイント下降。翌月予測もマイナス7.4で、前月から34.1ポイント下降している。

飯伊地区製造業の求人、求職、賃金事情

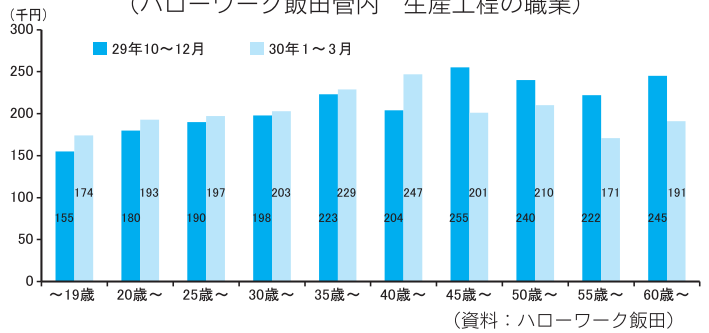
以下のグラフはハローワーク飯田管内における「生産工程の職業」の新規求人数と、新規求職者数の推移を見たもので、26年5月以降を平均すると、149.0人の新規求人数があるのに対して、新規求職者数は92.5人となっており、この期間の当地区の生産工程の職業では一貫して求人数が求職者数を上回っている。

また、新規求人数を新規求職者数で除した値の3か月移動平均の推移をみると、平成28年12月に2.0倍となって以後、それ以前に比べると高い水準で推移している。



次のグラフは、平成29年10~12月期と、平成30年1~3月期の、ハローワーク飯田管内「生産工程の職業」について、常用雇用中途採用者(新規学卒者は含まない)の採用時賃金(基本給、定期的に支払われる手当を含み、賞与、時間外手当を含まない)の平均値を示したものです。値は男女を区別せず、また各階層の母集団数も変動があるためあくまで参考値ですが、45歳までの階層に限ると、平成30年1~3月期の採用時賃金が平成29年10~12月期よりも上昇しているように思われる。

中途採用者採用時賃金 (ハローワーク飯田管内 生産工程の職業)



機械加工製造業

電気、精密機械器具の売上は、前月比横ばい、景況感も変化はないとの声が寄せられた。先行きは上向きといい、こうしたこともあってか製品在庫が増加している様子が見受けられる。当月、原材料、資材価格に大きな動きはなかった様子。雇用面の不足感を指摘する声が聞かれた。

半導体、液晶製造装置向け部品の受注残高は、前月比減少~横ばい。減少したとする業者であっても前年比が大きく増加していることもあって、景況感の悪化には至っていない。「スマホ関連は一服感」「高止まりの状況が続いている」「サーバー向けは増加」「半導体製造設備は需要拡大継続」「FPD関連良好」などの声が聞かれた。一部に先行きの生産の増加を見込む声も。当月、原材料、資材価格に大きな動きはなかった様子も、「アルミ、ステンレス」などの上昇を指摘する声が聞かれた。「若干不足。補充予定」「中途採用を複数名採用。経験者の募集を続ける」など、雇用面の不足感を指摘する声が複数ある。設備面で積極的な声も少なくない。

産業機器や医療機器向け部品の受注、販売の前月比は、横ばいとの声が多数を占めるが、そうした中において、増加した業者、減少した業者ともに複数見られる。「少し踊り場的な雰囲気を感じる」「全体的に動いているが、今一つとの声も聞かれる」「客先の仕事の変動にバラつきが大きい」などの声のほか、「顧客数増加に伴う受注の増加で手空きがない」「多品種小ロットの加工依頼が増え、多忙」「大口が山を越えつつあるが、動きは良い」「依然、外注先の溶接屋さんは忙しく納期が必要」との声、「案件を選択できるようになっている」「採算性を重視した取引に展開している」といった声が聞かれた。先行きに大きな変動はないと見る声が多いが、「先行きはまったく読めない。不安材料は多い」「大手が決算明けで、これから動きが出る」との話も聞かれる」などの声も寄せられた。

原材料資材価格は、概ね前月並みの様子も、「ステンレスが上昇。アルミも6月から上昇」との声のほか、「工業用ガス、酸素、水素、アンモニア、LPガス」などが上昇しているという。製品価格については、「材料費は値上がりしても、特にリピート品の値上げは厳しい」「数量増加に伴うコストダウン要請あり」など概ね横ばいも、一部に「若干の加工賃値上げ」との声も。雇用面では現状維持との声が多いが、「現状不足。派遣等で対応」「下期以降、客先の動向次第で不安がある」「来年増員」などの声も。設備面では

「予定あり」「秋ごろ入れ替え」「検討中」「冬に増設予定」など積極的な声が少なくない。

建築用金属製品の売上は、前月比概ね横ばい、前年比やや増加で、「この時期としてはまあまあ」など景況感の悪化には至っていないとの声が寄せられた。「オリンピック関連や再開発事業で活況が期待される」ところだが、まだ顕著な動きは見られない。活況の予想が裏切られた感はあるが、夏場には多忙となるだろう」という。原材料、資材価格は「足踏み状態」との声。雇用面、設備面で積極的な声がある。

自動車向け部品の販売は、前月比、前年比とも減少、景況感悪化との声。

小型電磁機器の販売の前月比は、減少～横ばい。一部に前年比もやや減少との声も聞かれたが、こうした業者でも、先行きの受注の増加を見込んでいることもあって、景況感の悪化には至っていない。原材料、資材価格が上昇基調にあるとの声は多い。雇用面では現状維持の様子。一部に設備面で積極的な声。

FA関連モーターの販売は、前月比概ね横ばい、前年比は増加しており、景況感も良好との声が寄せられた。「産業機械向け増加、車載向けは維持で推移」しており、先行きもこうした状態が続く見込みという。

光学機器の受注は、前月比、前年比ともやや増加、景況感も良好との声が寄せられた。「弊社の場合、年内は忙しい見通し」「最近、部品、加工用工具の入荷が遅れ、生産に支障をきたすケースが増えている」などの声。原材料価格上昇という。雇用面では、「若干不足。計画中」との声も。設備面でも積極的な声が聞かれた。

電気、電子製品の受注は、前月比やや減少も、「健康経営など健康が注目される中、引き合いは増えている」など、景況感良好との声が寄せられた。

地場産業

半生菓子、菓子原料等の売上は、前月比やや減少との声も聞かれるが、横ばい～やや増加との声が多い。「企画ものや一部の定番商品が好調」「3、4月とほぼ同額の受注。売上確保はできた」などの声。「3月以降景況は上向きだったと思う」など景況感良好との声もあるが、こうした業者でも「落ち着きそう」といった声が聞かれたほか、「流通は勢いに欠ける」「市場全般では、小売りの業態間の競争が激しい」などの声も聞かれた。雇用面では現状維持との声が多いが、一部に「1、2名採用したい」との声も。設備面では積極的な声が複数聞かれた。

水引製品の販売は、前月比やや減少～横ばい。「例年5～8月は閑散期」ということもあり、「新年度を迎えたが、特にめばしい引き合いもなく静かな状況」という。「価格改定をお願いしてきたが、一定の理解を得られたのは大きな成果」「価格改定を実施したが、販売増加につながるか不安はある」などの声が寄せられた。「5月下旬から季節パートが増加」するが、「内職者の高齢化、技術者の減少は不安要因」という。「『飯田水引』の国伝統工芸の指定は、資料の少なさなどから難航している。タイミングが悪かった感は否めないが、何とか『元結』だけでも指定を得て欲しい」「組合の新年度の計画も5月に決まる。新たな青写真で新しい方向を見出せば発展は可能なのではないか。新規に参入する事業者も迎え入れて互いに切磋琢磨することを願っている」などの声が聞かれた。

漬物の販売は、前月比増加、前年比やや減少、「野菜相場も落ち着き、売れ行きも落ち着いてきた」との声が聞かれた。「原材料、資材が値上がり傾向」という。

その他製造業

食品関連包材の生産は、前月比概ね横ばいとの声。当月、原材料、資材価格に大きな動きはなかったものの、先行きは上昇を見込んでいるという。

印刷、出版関連の売上は、前月比減少との声が聞かれた。「時期的に各地域でイベントが増えてくる。新たなイベントにも期待している」「補助金の採択事業では印刷が関連する部分も少なくない。事前相談やフォローなども通じて受注を取り込んでいきたい」などの声。雇用面で「今まで中途採用が多かったが、今後は高卒者の採用も考えていきたい」との声が寄せられた。設備面で積極的な声が聞かれた。

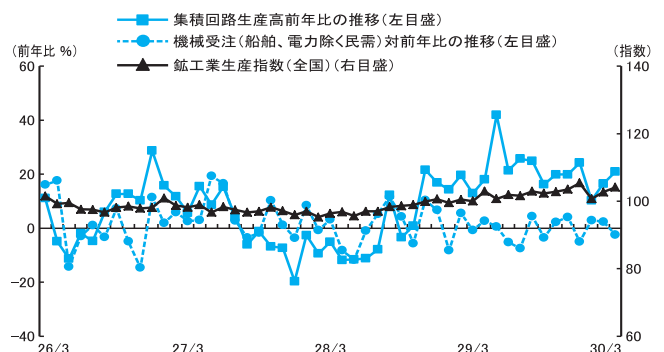
衣料品の受注は、前月比、前年比ともやや減少、景況感悪化との声が聞かれた。「総じて消費は依然低迷。高級品に限って言えば時期が来れば買い替え需要があるが、プロパー販売の伸びが期待できない。一部のスポーツブランドの動きが良いが、東京オリンピックの影響があるのかもしれない」という。原材料価格が上昇基調にあるという。加えて「最低賃金の上昇、他社との競合で賃金をアップせざるを得ない状況」で、「加工賃の上昇を求めないと今後はうまくいけなくなりそう」との声が聞かれた。

住宅機器、オフィス家具や店舗用什器など家具の生産は、前月比、前年比ともやや減少との声が寄せられた。景況感の悪化には至らないものの、「予想通り受注環境は一変し、先月までに間に合わなかった遅れ分などが現在の受注の内容」で、「この先2、3か月で受注量は冷えてしまうのではないか」など先行きは弱含みという。資材価格に関し、「次月以降に向けて再度値上げをしたいとの情報がある」一方、「客先は、調達資材の全体的な値上がりを背景に、価格転嫁への動きは冷たい。先々の情報を入れることで価格転嫁につなげていきたい」との声が聞かれた。雇用面で「今年に入り、新規学卒者を含めて相当数の増員」との声が聞かれたほか、設備面でも積極的な声。

【企業からのコメント】

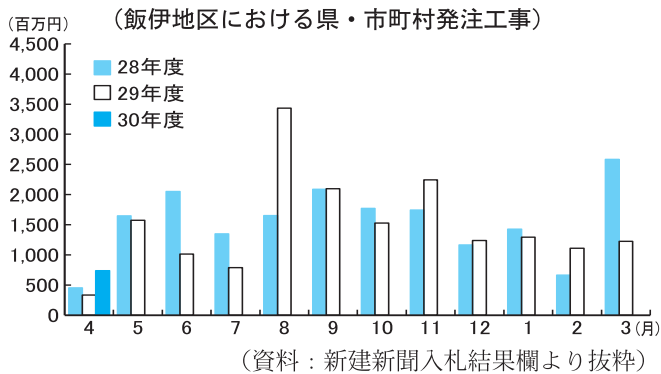
- ★アメリカの輸入制限措置の影響があるかもしれない。
- ★今年の受注は、夏枯れも予想される。
- ★包装資材でも値上げの話が出てきた。
- ★地元取引の重要性もさることながら、採算性を重視する方向へと動いている。

集積回路、機械受注・鋳工業生産指数の推移



建設業

月別入札額



当月景況DI -7.1 (前月 -25.0)

翌月予測DI -28.6 (前月 -50.0)

官公需

当地区における、当月の県、市町村発注工事の入札額合計は、約7.3億円で、前月比は40%減少も、前年比は120%増加している(5月15日調査時点)。

当月の調査先企業の受注残高の前月比は、業者により増減分かれる。「年度末に入札が多かったため、元受、下請共に仕事を確保することができた」「一部に早期発注があり、受注できた」などの声や、「前年並みの受注」「公共工事の発注件数は少ない」「例年通り4~6月は閑散期」「全体的に工事量減少。国と県では新年度工事が発注になってきたが、市町村がまだ」「当社は何とか動いているが、受注の余力がある状態」「予算通過で徐々に発注になってきているが、いまだ工事が少なく、競争は厳しい」などの声が聞かれた。こうした中、景況感は、好転した業者は見られない一方で、悪化した業者も多くはない。先行きは弱含みとの声が多い。

「繰り越し工事が進捗」「小規模だが年度末の完成工事があった」など、完工高は増加との声が多い。

複数の業者から工事単価が上昇傾向にあるとの声。

当月資材価格に大きな動きはなかった様子だが、「種類により上昇したものもある」という。

こうした中、雇用面では現状維持との声が多いが、「新入社員の増員」「技術者、営業など募集」「施工職員募集」などの声も聞かれた。設備面でも「少し控える」など積極的な声は多くはないが、「ドローン」「OA機器」などに投資するとの声も聞かれた。

民需

当地区の3月の住宅着工戸数は54戸。前月比横ばい、前年比は22%減少している。

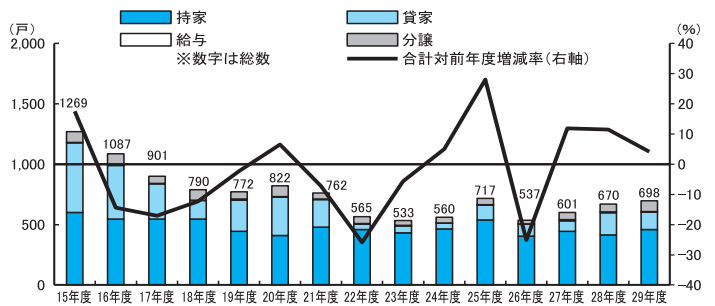
当月の調査先企業の受注残高の前月比は、業者により増減分かれる。住宅建築では、「新築住宅はまずまず」などの声が聞かれたほか、受注残高が増加した業者も見られ、こうした業者からは「高齢化もあって人員が不足気味。確保していく」などの声も寄せられた。一方、住宅以外の建築に関しては、「民間は、大型工事がなく減少気味」「一般工事は少なくなっていると思う。下請けさんからも『仕事がないか』という問い合わせが来るようになってきた」「大型工事が完成していき、受注残が少ない」などの声が聞かれ、景況感が悪化した業者も少なくない。

一部に、当月、資材価格が上昇との声。多くはないが設備面で積極的な声も聞かれた。

平成29年度 飯伊地区住宅着工戸数

平成29年度の飯伊地域の住宅着工戸数は、持家460戸、貸家144戸、給与3戸、分譲91戸の合計698戸。平成28年度は、持家415戸、貸家183戸、給与8戸、分譲64戸の合計670戸で、平成29年度の着工戸数総数の対前年度比はプラス4%だった。中でも分譲は42%増加している。また、貸家は、前年度に比べ21%減少しているものの、前年度に引き続き100戸を超えている。

飯伊地区 住宅着工戸数の推移(用途別)



建設資材

鋼材の売上は、「月前半はまずまずの動き。昨年の4月は低迷したので心配されたが、大きな落ち込みはなかった」など、前月比、前年比ともやや増加との声が寄せられた。とはいうものの、「大きな落ち込みがあるわけではないが、明るいとは言えない。客先の手持量はバラバラで、小売に限らず流通は扱い高の確保に苦慮している」など景況感の好転には至らないという。鋼材価格は、「横ばいだがジリ高傾向のものもあり予断を許さない。二次製品などは値上げの動きが目立つ」という。

生コンの売上の前月比は、地域によっては増加との声も聞かれたが、やや減少との声が多い。前年比はやや増加。「主な出荷は、浄水場工事、リニア関連工事、特別養護老人ホームやビジネスホテルの建築、三遠南信自動車道関連工事、天竜川護岸、林道改良工事に関わるもの。JR発注のリニア関連工事は前月より減少」という。一部に「河川改修工事や砂防ダム工事の打設があり出荷量が多少増加。今後数か月続くほか、堰堤工事が始まりそうで期待」など景況感が好転した業者も見られた。

骨材等の売上は、「4月の出荷は少なかった」など、前月比、前年比とも減少も、景況感の悪化には至らないとの声が寄せられた。

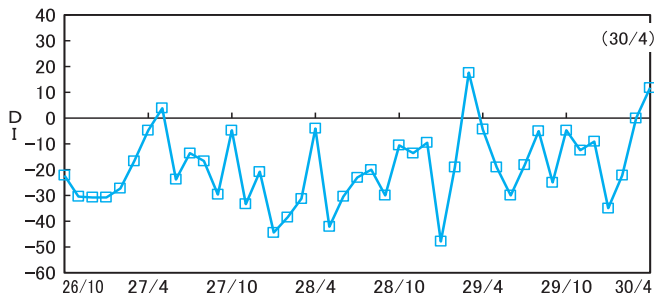
【企業からのコメント】

- ★忙しい会社とそうでない会社の差があるように感じる。
- ★平成30年度も、先が見通せるようになってきた。
- ★新入社員を増員。技術者の不足で求人活動は続ける。
- ★小規模だが農業関連の民間工事が増えた。

住宅建築確認申請受付状況(※本誌調査による概数)

4月	○飯田建設事務所分
	新築 11件 (前年 10件)
	増築 0件 (前年 0件)
	○飯田市役所分
	新築 9件 (前年 25件)
	増築 2件 (前年 2件)
	※指定確認検査機関分を含む

商業・サービス業DI



当月景況DI	11.8	(先月 0.0)
翌月予測DI	0.0	(先月 -9.1)

商業

食品の売上の前月比は、やや増加との声が多い。前年比はやや減少との声も。「青果物の相場変動により価格が不安定」「野菜類は仕入価格が安定してきたが魚貝類がやや上昇している」「周囲の環境の変化で売上が伸びた」などの声が聞かれた。雇用面で、「足りないが、なかなか集まらない」などの声が聞かれる中、「中途採用者を増やして充足させる」「依然人員が確保できず、かろうじて現状維持」などの声が聞かれた。

【青果卸売市場】

売上は前月比、前年比共にやや減少という。野菜は、「高値の続いていた野菜も生産量が増え、白菜・たけのこ・南瓜・馬鈴薯・レタス等は昨年に比べ大幅な安値となった。野菜全体では入荷量9%減で価格は16%安だった。」との声。果実は、「国産の晩柑は不作で、輸入柑橘は好調な販売だったが、果実全体では入荷量25%減と国内柑橘の不作が響き、価格は17%高くなった」という。

製菓、製菓用品卸の売上は、前月比やや減少も、景況感の悪化には至らないという。

家事用品卸の売上は前月比、前年比共にやや増加との声。「リニューアルオープンした店舗があり、又殺虫剤も早めに出荷できたので少しは良かったと思う」「紙の値上げも通知が来ているが、欠品が多くて困っている」などの声が寄せられた。先行き仕入価格の上昇が見込まれるという。

電化製品の売上は、前月比、前年比共にやや減少も、「前年は太陽光特需があり、前年対比では落ちているが、前々年と比べても例年通り」という。「夏季商品の在庫も増え、エアコン、それに付随する設備工事の見通しも良い」などの声が聞かれた。「原材料である銅の値上がり、多少不安要素」という。

娯楽用品の売上は、「前月比、前年比共にダウン」との声が聞かれた。

衣料品の売上は、前月比、前年比やや増加との声。雇用面で「検討する必要がある」という。

土産物関連の売上は、前月比やや増加～増加、一部に前年比もやや増加との声。先行き仕入価格の上昇を見込む声が聞かれた。

松本自動車検査登録事務所管内の**自動車新規登録台数**は、新車は前月比51%減少も、前年比は1%増加。中古車は、前月比23%減少、前年比も12%減少した。3月の県全体の**軽自動車新規登録台数**は、新車は、前月比42%増加も、前年比は2%減少。中古車は、前月比42%増加も、前年比は3%減少した。

自動車販売、整備の売上は、「例年この時期一服感が出る」など、前月比やや減少、前年比やや増加との声。「車検需要は今まで山年、谷年と前年対比でプラ

スになる年と、マイナスになる年が交互に現れていたが、平成29年度は昨年度に続いて減少した。いよいよ総保有台数減少の影響が出始めた感じがする」との声が聞かれた。

サービス業

市内料理店の売上は、前月比やや増加、前年比もやや増加している。「先月以来の好調さを保つことができた。ただ、予約状況からすると決して景気が良いようには感じない。今後の見通しも何とも言えない」「花見シーズンの割には予約の入り方があまり早くなく心配していたが、4月を振り返ると昨年同月より数字が良くなっている」「4月前半は本当に悪かったが、月末から連休前にかけて盛り返し、前年と同水準となった」「同業にも4月は悪いとの声がある」「今年に入り、1月2月と昨年同月より悪かったので心配していたが3月で盛り返し4月も良かったので一安心」などの声。「ビールは全商品値上げ」など、ものによっては仕入価格が上昇しているという。「丘の上だけでなく近郊の町村にも飲食店が多数でき、飯田下伊那は飽和状態にある気もするが、どこの店もそれなりに営業できている」との声が寄せられた。

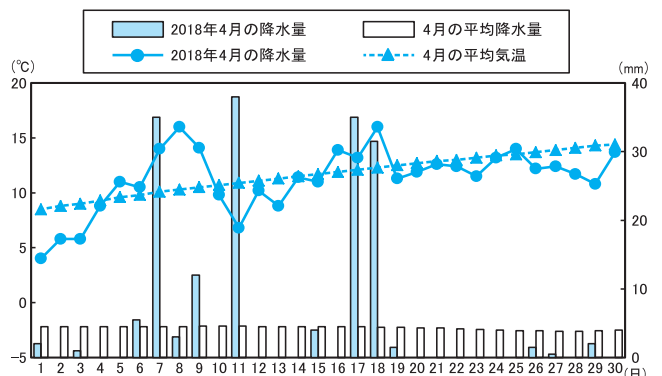
昼神温泉の売上は、前年比やや減少との声。「ゴールデンウィークに集中して予約がありいつも同じ状況。しかし花の開花が早く、すべての花が一斉に咲いたという感じで、お客様もタイミングを取るのに迷われ、結局出足が悪かった感。ゴールデンウィーク前半はともかく、後半に客足が途絶えてしまった」「4/28～5/6までナイトツアーがあった。中盤の休日は割合混雑したが、それ以外はさほど混み合ったわけではないように感じる。星目的のお客様は若い方達がほとんどだが、天候も良くなって残念がっていた方も多かった」などの声が聞かれた。

タクシーの売上は、前月比やや増加との声。「地区内の消費需要は全く伸びていない。夜間の需要に対して、各社の稼働率の違いが売上を左右しているのではないかと」「全般的に乗務員不足による実働率の低下により売上が左右されている」「利用者目線でみると、移動手段としてタクシーを選択する割合が減少している」などの声が聞かれた。

【企業からのコメント】

- ★売れないという声をよく聞く。本当はどうなのか知りたい。
- ★政治も前に進まないし、先はどうなるのか？
- ★施設の修理、機械類の入れ替え等出てしまい、予想以上の出費があり厳しい。
- ★労働力不足による売上の減少が顕著に見られる。稼働率の高い事業者の売上は上がっている。今後人材不足によって経営が悪化する事態が起きてくると思われる。

飯田の気温と降水量



流れ雲の目(23) オーナー経営者と雇われママ

飯田信用金庫 地域サポート部
専門アドバイザー 小泉 敏郎

友人に誘われてあるスナックに行った。そこには妙齡の綺麗なママと二人の可愛い女子従業員がいた。当たり前のことだが、二人の女の子は常にママの一挙一動に気を付けている。店の中は綺麗に整理整頓されており非常に居心地の良い小奇麗な店だ。尚且つ価格もリーズナブルで、これからもこの店には来ようという気にさせる店だった。

別のある日、違うスナックに悪友に誘われて行った。そこにも色っぽいママと二人の女子従業員がいた。若くて可愛い顔をした女の子たちなのだが、ママのことをまるで気にもせず自由奔放に伸び伸びと行動している。ママはと見ると、従業員には目もくれず隅のボックスでお客と楽しそうに談笑しながらビールを飲んでいる。気のせいか店内は何となく清掃が行き届かず、乱雑な感じがした。

同じような規模のスナックで、どちらも居心地は悪くはないのだが、こうも雰囲気が違うものだろうか？何故、何がどうしてこれほど店の空気を違えているのかと興味を持った。好奇心に駆られ、それぞれの店に二、三回ほど顔を出して、よくよく観察していると、あることが判った。二人のママの、その店に対する愛情の違いをハッキリと感ずることができた。

ママの、その店に対する愛情とは何だろうか、どこからその愛情が湧き出してくるのだろうか。大事な自分の職場、生活の糧の場、頑張って所有することができた場所。この感情が二人のママでは大きく違っていたのだ。一人は本当に自分で長い間苦勞してやっと所有できた店。片や知人から頼まれてママ(所謂雇われママ)をしている店であった。売上や利益に対し、どちらのママも経営者としての責任を持ち一生懸命運営しているわけだが、根本的に店の将来、利益に対する責任と愛情、根性が違っているように見えた。内装や模様換えを業者に頼めば金が掛かる。しかし、雑巾がけは只だ。掃除、雑巾がけは自分でやれば金が掛からない。床の掃除、ガラス磨き、整理整頓、棚や壁、照明器具の掃除などすべて自分でできることだ。

そのオーナーママは、店を終えて帰宅するとき必ず店のドアを閉める前、店に頭を下げてお礼の言葉を言っている、大事な生活の糧であるお店に感謝の意を表しているのだ。そういう身についた心からの姿勢が、あらゆる行動にも現れてくる。そういうママの姿勢が女子従業員にも伝わり、彼女たちの行動にも違いが出てくるのだ。

一般的に小規模企業の殆んどがオーナー経営者であるのに対し、大企業(特に上場企業)では、大多数の社長は経営者ではあっても、大株主、オーナーではなくなっている。

中小企業の経営者であっても違いはある。例えば創業者と後継者とは自ずと違いが出てくる。永年汗水たらし苦勞して作り上げた会社と、親から安定した状態で譲られた会社とでは違いが出てくるのは当然であろう。しかしながら、後継者といえども会社を経営することに於いては創業者と同じで、将来の目標に向けてオーナー経営者として責任と自覚を持つようになるものだ。あるオーナー経営者が言っていたが、使い古した雑巾も大切な財産なんだ、若い部下が汚いからと言って勝手に処分すると頭にくる。この会社の備品には思いがこもっているのだ、まだ使えるから勝手に処分してはならないと。ゴミも俺の財産だ。

片や断捨離(ダンシャリ)という言葉がある。不要なもの、あまり使わないもの、壊れたり故障しているもの、陳腐化しているものはきれいサッパリ処分をした方が、効率も上がるし福も来るのだと。

どちらもそれぞれ言い分がありそれなりの訳があるのだが、やはりオーナー経営者の方が会社の物に対する愛情が深く、処分しにくい傾向があるのではなからうか。

決して後継者やオーナー以外の経営者を否定しているわけではない、外から見るとその様に見られる場合があることを十分に認識することが必要であろう。

オーナー経営者も雇われママもどちらも同じ経営者であり業績責任を持っているのだ。

会社訪問でその会社の社長の経営理念、経営姿勢がよく分かるとよく言われるが、人間は感性の動物であり物事を判断するのに第一印象が一番大きく影響するものだ。

訪問時最初に感じるのは駐車場だ。車がスムーズに駐車できるスペースがあるか、お客様を快く招き入れる状態になっているか。応接でお茶を受ける時でも社員教育がある程度分かる。

肝心なのは工場内が整理整頓されているかだ。幾ら事務所が飾り立てあっても利益を生む現場がどのような状態になっているかが問題だ。

トイレを借りると会社分かる、掲示物で業績が判断できる、時期はずれの掲示があるかないか。洗い出すと限りが無いが、日頃の社長の言動と現場、工場の状況がリンクできているかどうか、そういう細かいところの社長の意識の差異を、従業員もお客も感じ取るものなのだ。

自社に愛情を持ち自ら雑巾で磨き上げる精神が、良い従業員を育て結果として業績向上に繋がるのではないだろうか。

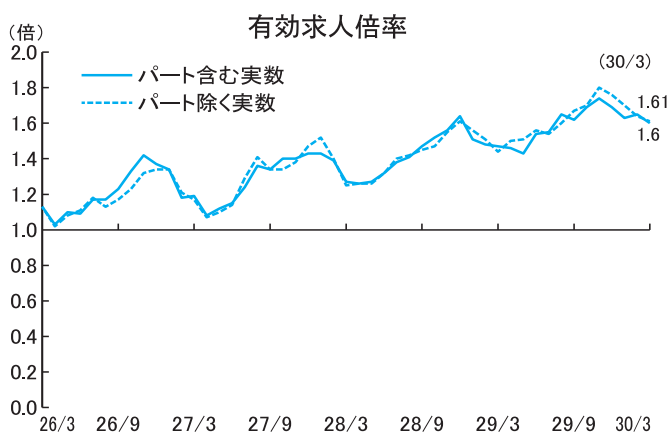
気持ちの良い環境で、明るい精神で、前向きに物事に挑戦する姿が、一番美しいと思う。

飯田信用金庫では、2名の専門アドバイザーによる継続的な事業支援を行っています。

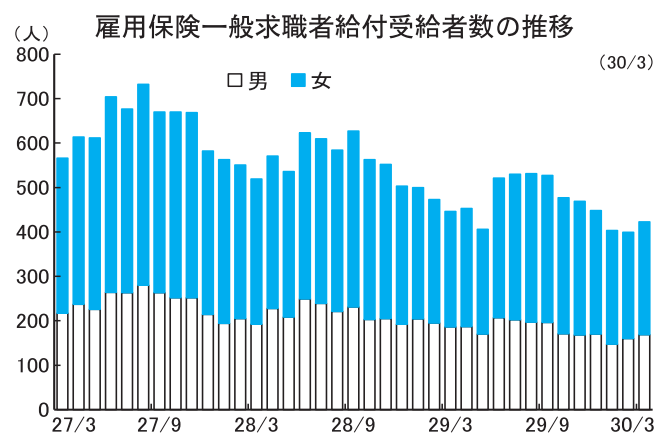
今回執筆を担当した当金庫専門アドバイザー 小泉 敏郎 は、工場、営業、企画など製造業の各部門を経験し、取締役、社長として経営にも携わった経験を基に、皆様の工場等を拝見し、お話を伺った上で、多角的な視点から、皆様の課題の解決に向けた取組のお手伝いをさせていただきます。

ご用命は、飯田信用金庫 地域サポート部 企業経営サポート課（飯田市本町1-2 飯田信用金庫4階 TEL 0265-53-5811 FAX 0265-53-1132）まで お気軽にお申し付けください。

雇用の状況



3月の月間有効求人倍率は、パートを含む実数で1.60倍と、前月から0.05ポイント下降。パートを除く実数も1.61倍で、前月から0.03ポイント下降している。



3月の雇用保険一般求職者給付の受給者数は前月に比べ、男性は5人減少、女性は14人増加しており、全体では432人と前月から9人増加している。

(資料：ハローワーク飯田)

三遠南信地域交流たずねある記(2) 三遠地域にみる南信州

兵越林道で南信州と繋がる ～水窪町（浜松市天竜区）～

にしうれ 西浦はくりや 店主 本永善之氏

三遠南信地域の交流現場を訪ね歩くシリーズ。今回は遠州地域からの報告となる。

水窪の街を走っていると南信州の清酒の看板を取り付けた酒屋さんを見つけた。前の道路は国道152号線で、旧秋葉街道。

南信州との交流のお話を伺えるのではと思い、飛び込んだ。



「喜久水」の看板がある酒屋
(浜松市天竜区水窪町奥領家)

－事業について教えてください

昭和30年に父親が酒屋を創業し、私で2代目。最初はこの対岸で商売をしていたが、現在地に移って20年程になる。

「喜久水」を扱いはじめたのは、飯田線が佐久間ダムにより水窪廻りになった昭和30年頃。飯田線や水窪ダムの工事、近辺の土木工事や営林署の現場へ飯田方面から工事関係者が大勢来ており、「喜久水はないか」という話が出たのがきっかけ。喜久水酒造(株)さんは、この地域を卸を介さない直取引としていて、歴代担当者がきめ細かく対応してくれて取り扱いが増えた。その当時、飯田からは国道151号線新野峠付近が未改良だったため、酒を積んだトラックは153号線で根羽村へ、そこから茶臼山を通過して豊根村へ降り、水窪まで来た。当時水窪には16軒の酒屋があったが、月2回、4トン車に満載した酒を当店で半分降ろす程取り扱った。



水窪の街では「喜久水」の入った酒屋、飲食店の看板がいくつか目についた

水窪の人も「喜久水」を好んで飲む。ただ遠州地域の他地区では、佐久間町では飯田方面から来た人がいて若干売れているが、あとは殆ど飲まれていない。

－南信州との交流の状況はどうか

昭和45年頃までは、水窪の魚は飯田線の電車で連結した貨物車で飯田から運んでいた。水窪の人にとって魚といえば、塩サンマ、塩サバ、イワシなどであるが、それらは飯田市場から来たものであった。ただ、塩イカは水窪では食べない。

水窪町は、浜松市など遠州地域中心部から遠く、雨量規制や崩落などで途中の道が年に数日位閉鎖になる。また遠州地域の中では雪が多く、遠州中心部から来る車にはスタッドレスタイヤやチェーンなど滑り止めを持っていない車が多い。そのような配送上の問題から当町にはコンビニが一軒もない。

水窪と南信濃とを結ぶ兵越林道は、積雪時に長野県側は必ず除雪をするので、除雪しない静岡県側の雪は深い。厳冬期にも通れない日はない。兵越林道が開通して南信濃の商工業者との付き合いが始まった。当時、南信濃地区から飯田方面へは



本永善之氏

赤石林道経由であり平岡経由の湖岸道路も開通していなかったから、南信濃地区商工業者としては飯田方面より遠州方面へ商圏を拡げる意図があったと思う。当店で兵越林道で長野県側へ出かけ、祝儀袋は飯田の水引業者から、雑貨は飯田卸団地の業者から、南信濃の肉のスズキヤさんからジングスを仕入れてくる。

水窪の人の買い物という、浜松方面へは車をやや飛ばし気味で1時間30分、飯田方面とはほぼ一緒だが、飯田はアップロード界隈の狭い範囲に一通り店が揃っており、店舗間の移動が楽。浜松の商業施設ゾーンは渋滞になるためそうはいかない。飯田でのショッピングの都合よさを判っているのは水窪では多数派ではないかもしれないが、結構水窪から飯田へ行っていると思う。

水窪町商工会役員の時南信濃商工会と交流事業が始まった。最初はソフトボール大会などであったが、県境を挟んでいることに因み、峠の国盗り綱引きという趣向を考えついた。最初は兵越林道の道路上でやったが、やがて綱引き広場ができるなど、このイベントが盛り上がってきている。昨年秋で31回を数えている。

困るのは、南信州の人達は生真面目すぎる。綱引きを必勝態勢で取り組んでいる。親睦面も考えて欲しいものだ。だが、その生真面目さが大鹿大西公園や阿智の花桃の里の今の賑わいをつくったのだと思う。自分の代ではどうなるか判らないものを、未来を信じ、地道に木の苗を植え続けた人がおり、それを支える人が地域にいた、ということが凄いと思う。

一三遠南信自動車道への期待は

遠州側の進捗状況は、東栄IC～佐久間IC間が平成30年度に供用開始予定である。佐久間IC～水窪IC（IC名はいずれも仮称）間はこれまで事業化に至らなかったが、近く動きが出てくるようだ。水窪IC～水窪北IC間は現道活用区間だが、私とすれば、青崩トンネルが開きさえすれば現道であっても状況は劇的に変わると思う。

先程述べたが、現状の道路でも南信州方面への行き来がある。観光面では、私の知り合いは温泉が好きで、豊橋から湯谷温泉、東栄温泉、豊根温泉をパスしてまで、かぐらの湯まで通っているという。それだけ魅力的なこと。私も青崩トンネルが開いて入浴料がもう少し安くなれば家の風呂は使わず毎日でも通いたいくらいだ。

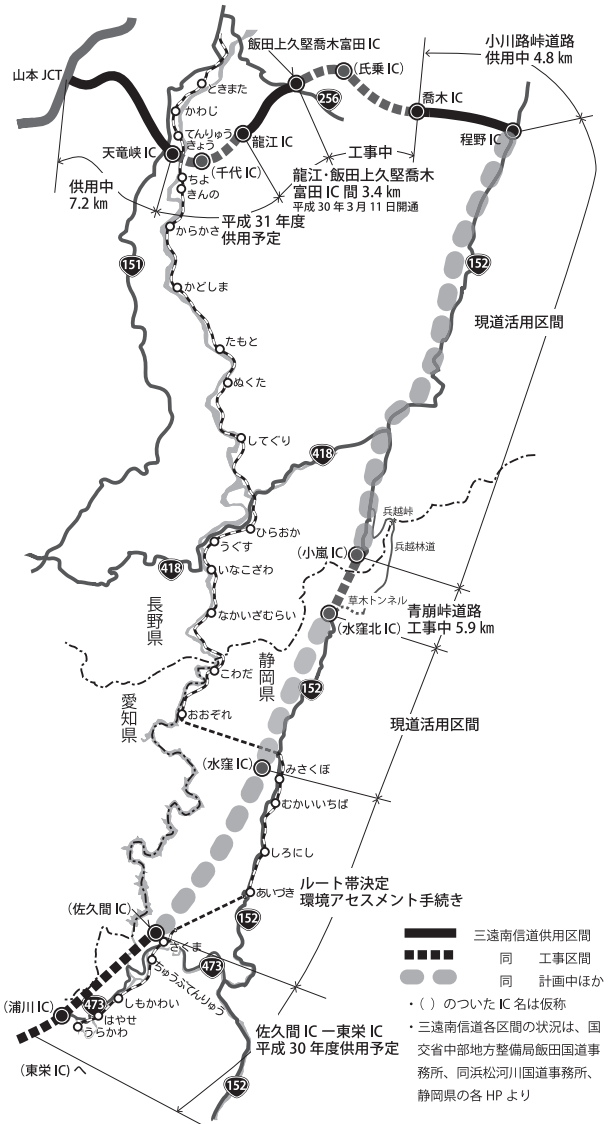
また南信州との取引を増やしたいとする水窪の製造業者がいるし、遠州地方から日本海方面への物流となると、これからは三遠南信道がメインとなる。物流業界にも大きな変化があるのではないかな。

一リニア中央新幹線への期待はどうか。

リニアは長野県駅に1日（1時間）に何本停まるか、リニア開通後に浜松駅の「のぞみ」「ひかり」「こだま」の停車がどうなるか、いずれもはっきりしていないので、現状では微妙なところだ。

（文中、清酒の銘柄表記は「喜久水」で統一してあります）

三遠南信地域県境部の交通体系と三遠南信道の現況



（飯田信用金庫 地域サポート部 リニア対策課 加藤 修平）

長野県よろず支援拠点サテライトのご案内

飯田信用金庫は、「長野県よろず支援拠点サテライト」を設置します

「よろず支援拠点」は、国が各都道府県に設置している【中小企業・小規模事業者の為の経営相談所】です。長野県では公益財団法人長野県中小企業振興センターが受託し、金融機関等と連携しながら、地域の事業者様の経営課題の解決に向けて 無料で何度でも ご相談に応じています。

この度、飯田信用金庫は「長野県よろず支援拠点サテライト」を設置し、より身近に、より迅速にご相談いただけるよう、長野県よろず支援拠点のコーディネーターによる定期的な個別相談会を開催することと致しました。

今回は「長野県よろず支援拠点」、「長野県よろず支援拠点サテライト」をご紹介します。



長野県よろず支援拠点コーディネーターによる個別相談の様子
(H30/4/18(水) 飯田信用金庫本部)

「長野県よろず支援拠点」の支援例

まずは「長野県よろず支援拠点」のコーディネーターによる支援の実例をご覧くださいませ。

★店舗レイアウト変更と販促策による売上増

●売上が伸びない！ — 経営者のお悩み

相談者は、それまであった酒ディスカウント店を居抜きで買い取って創業した酒販店。酒類の他に、輸入食品やこだわりの食材も販売し、「ちょっとした贅沢」を楽しめる店づくりを目指している。

しかし、立地は近隣に住宅や商業施設がない国道沿い。「ついで買い」を期待できない上に、以前のディスカウント店のイメージが払拭できず、資金繰りにも影響が出始めていた。

そこで、長野県信用保証協会協力の下で利益率改善に向けた取組みを始めたほか、Facebookの活用や、料理教室を開く等して集客を図ったが、大きな売上増加につながらなかった。

●店舗レイアウトに問題発見。でもそれだけでは… — お悩みの分析

当初の相談内容は、売上増加に向けた店舗レイアウトの変更を見て欲しいというものだった。コーディネーターが現地に赴き、ヒアリングした結果、

- ・ 什器の背が高く、店内の見通しが悪い。
- ・ 味噌、醤油、駄菓子等の日常食品や、販売に場所を選ばないビールが店舗内の一等地に陳列されている

といった問題を発見。

しかし、レイアウト変更は買上率向上策としては有効だが、集客増加にはつながりにくい。そこで、集客自体を改善するための販促策も同時に検討することにした。

●買上率の向上を目指した店舗レイアウト変更と集客策の提案 — 解決策の提案

レイアウト変更の面では、マグネット売場(お客の回遊を促すために作る『磁石売場』)を意識するとともに、店内見通しを良くすることや、お客様を飽きさせない為のイベントスペースを確保するよう提案した。具体的には、

- ・ フードコーナーの什器を、背の低い既存什器に変更
- ・ リレーションの良いゾーニングに変更してお客様の回遊を促す
- ・ 一等地には店のウリを陳列し、お客様の購買意欲を沸かせるディスプレイに変更

といった提案をしたほか、販促策では、

- ・ 「not ジャケ借り」を模して、中身を隠し店が付けた商品コピーのみを見せる「ミステリーワイン福袋限定39本」をはじめ、「限定39本」「割引価格3,900円」といった、すべて「39」(サンキュー)にこだわった「大感謝祭」企画の策定と、そのチラシの作成指導
- ・ 年間販促スケジュールの作成 等を提案した。

● 平均レジ購買価格が5%上昇。大感謝祭当日の売上41%増 — 支援の効果

レイアウト変更を始めたころからお客様の滞在時間が増え、お客様1人当たりのレジ購買額も5%増加。「商品が見やすくなった」など、お客様から好評を得ている。また、大感謝祭当日は、平日にもかかわらずレジ客数が52%増加。足を運んだお客さまに企画商品だけでなく正規価格商品もご購入頂き、売上額も41%増加。チラシも「他よりも目立っていた」といった反応があった。相談者は支援を振り返り、「お勧め商品、売りたい商品が分かりやすい店舗に変更することができました。販促策にも踏み込んだアドバイスを頂き、チラシ作成もお手伝い頂けてとても大きな反響を得ることができ満足しています」と語っている。(平成29年度 長野県よろず支援拠点成果事例集より)

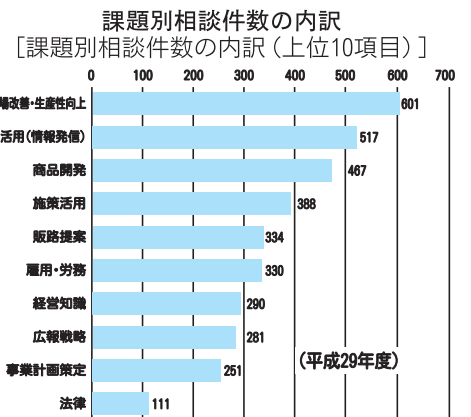


● 「長野県よろず支援拠点」

今回は比較的小さい負担で相応の効果があった事例を紹介しましたが、それだけではありません。

- ・「IT、IOTの導入で製造業の生産性革新と経営改善を実現」
- ・「キノコ培地の再利用化技術の開発」
- ・「レトルトカレーのパッケージ刷新で売上2.5倍」
- ・「緩みにくいボルトの実用化と販路開拓」
- ・「青果業の新業態としてフルーツ洋菓子店をオープン」
- ・「水門扉の自動開閉装置の商品化」

といった事例を始め、製造業、サービス業、宿泊業、飲食業など様々な業種の皆様から、「現場改善・生産性向上」「IT活用」「商品開発」をはじめ、昨年だけでも4,129件の相談が寄せられています。



● 飯田信用金庫「長野県よろず支援拠点サテライト」

飯田信用金庫では、より身近に、より迅速にご相談いただけるよう、飯伊地区の「長野県よろず支援拠点サテライト」を設置し、原則毎月第2木曜日に、長野県よろず支援拠点コーディネーターによる無料個別相談会を開催します。

飯田信用金庫では、様々な機関と連携して中小企業、小規模事業者の皆様の様々な経営課題の解決に取り組んでいます。「あれをやってみたい」「これは困った」という時、当金庫にぜひお声掛け下さい。

平成30年度 長野県よろず支援拠点サテライト相談会日程(予定)

- 日時 毎月第2木曜日 10:00~16:00
- 場所 飯田信用金庫 本店営業部

平成30年	4月12日	(木)
	5月10日	(木)
	6月14日	(木)
	7月12日	(木)
	8月9日	(木)
	9月13日	(木)
	10月11日	(木)
	11月8日	(木)
	12月13日	(木)
	平成31年	1月10日
2月14日		(木)
3月14日		(木)

【長野県よろず支援拠点サテライト 相談フロー】

